

令和7年度

運営に関する計画

(最終評価)

大阪市立川北小学校

令和8年3月

大阪市立川北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、素直で子どもらしさにあふれる児童が多い。子どもの学力面では、「主体的・対話的で深い学びの推進」に向け、教職員の共通理解や一体となった指導体制のもと、子どもの学びの環境を整えていく。また、主体的な学びと言語活動の推進に向け、より主体的に読書する子どもの育成を図る。一方で、基礎学力の定着に課題のある児童や家庭環境の複雑さに起因する生活指導面に課題のある児童が複数在籍しており、基礎学力の定着、家庭と連携した生活指導の充実が不可欠である。そのため、児童にとってわかりやすい授業づくり、児童の自主学習習慣づくり・家庭学習習慣づくり等に取り組み、授業形式では、4年生以上を対象とした専科指導を進めていく。

安心・安全面では、学校のきまり・学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立、規範意識の育成や仲間づくりを通して、望ましい児童集団づくりをすすめる。また、児童の自尊感情の醸成を促す指導をすすめていく必要がある。

体育・健康面では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、児童の体力や児童の「運動」に取り組む意識が低下していることが危惧される。児童の体力づくりや「運動」に取り組む意欲の向上を図るために、運動するための環境整備をすすめ、感染症対策や食育をはじめ、児童が自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるように、取組をすすめる必要がある。特に総運動時間が少ない児童は体力合計点が低い傾向にあり、まずは運動時間の確保から進めていきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和4年度より0.03ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を78%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を令和5年度より全国平均に近づける。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を80%以上にする。
- 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。
- 令和7年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」に対して肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授

- 業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]
- 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85%以上にする。
 - 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括（中期目標の総括も含む）

今年度の目標項目については、それぞれの取組内容や指標等をおおむね達成することができた。

本校の児童の中には、基礎学力の定着に課題のある児童や外国につながる児童をはじめ、家庭環境の複雑さに起因する生活指導面に多様な課題のある児童が複数いる。今後も、基礎学力の定着、家庭や関係諸機関等と連携した生活指導の充実が不可欠である。

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。

(R7:73%達成せず 但し、肯定的回答は93.9%)

- 令和7年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」に対して肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。(R7:73%達成)

※いじめに関するさまざまな取り組みを通して、いじめは絶対にいけないという意識を向上させてきた。今後も取り組みを継続させていく。自己肯定感を持たせる取り組みも続けてきたことで、成果を上げることができた。また、学校安心ルールを運用し、基本的な生活習慣の確立、規範意識の育成、仲間づくりを通して一定の成果を上げることができた。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

(国語 4年+0.17ポイント達成、5年+0.04ポイント達成、6年-0.04ポイント達成せず)

(算数 4年+0.19ポイント達成、5年+0.03ポイント達成、6年-0.12ポイント達成せず)

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

(R7:65.1%達成)

※学力向上において、校内正答率と対全国は学年によって違いがあるが、3学年中、2学年で前年度より大きく向上している。運動については、能力、習慣、意識ともに全国平均を超える結果が出ている。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く] **(R7:79.4%達成)**

- 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85%以上にする。**(R7:100% 4月より全て達成)**

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。**(R7:76.6%達成せず)**

※教育DXの推進、教職員の働き方改革については、ICT機器の活用や長時間勤務の削減が積極的に意識づけられてきている。また、読書活動も積極的に進めていく中で、一定の成果が出ている。

(様式2)

大阪市立 川北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○ 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」に対して肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを毎学期1回は必ず実施し、いじめの実態把握、いじめについて考える日の取り組みを通していじめを許さず、お互いの尊厳を高めあう集団づくりにつとめる。 ・すべての児童にとって、学びやすく、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努める。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎学期必ずいじめアンケートを実施し、聞き取りも行う。 ・「いじめについて考える日」の取り組みで各学年の実態に即した内容を精選して取り組む。 ・日常的に、教職員による校内の安全点検・衛生管理等を実施する。 	B
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さを理解させる。 ・なかまづくりを通して、児童の自尊感情の醸成や思いやりの心を育てる。 ・互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校のきまり」「学校安心ルール」を教室に掲示し、いつも意識できるようにする。 ・児童会を中心に「あいさつ運動」（各学期1回）を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。 ・「よいところさがし週間」（各学期1回）を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。 ・異学年交流を楽しめるよう集会活動等を実施する。 ・子どもの人権にかかわる体験授業、多文化理解等につながる体験的活動（全学年：年1回）を実施する。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取り組み内容①

- ・日々の安全点検に加え、管理作業員とも連携し、危険な箇所など適宜、修理・修繕を行うことで安全な学校が保たれている。
- ・いじめアンケートの結果は各々の学級で異なるが、学期に一回定期的実施することであいまいにならないうちに解決することができた。いじめの案件に対して、被害児童の安全確保を最優先とし、担任・管理職で連携して解決し、共通理解することができた。また、学校アンケートの「学校生活は楽しい」に対する肯定的な意見が85パーセント以上なので目標は達成できている。
- ・「いじめについて考える日」を通して、加害者だけでなく、傍観者や観衆も加害者になるということを指導することができた。
- ・よいところみつけ週間等の取り組みやふだんのクラスでの活動から、学校アンケートの「自分には、良いところがある」に対する肯定的な意見が75.3%から75.9%に上がっている。
- ・児童集会を定期的に行い、異学年交流をすることができた。挨拶運動や集会活動など、縦のつながりを持てる機会が多く、高学年が良い見本となっている。

取り組み内容②

- ・学校アンケートの「友達の気持ちを考えて助け合おうとしている」に対する肯定的な意見が91.1%から94.4%に上がっている。
- ・学校のきまりなどが、教室や児童の目のつくところに掲示されているため、学校の決まりを守ることの大切さの意識付けにつなげることができた。持ち物や服装について学校として一貫した指導を行うことができた。
- ・代表委員会で学期に一回挨拶運動を行うことができた。
- ・よいところみつけ週間では、児童が友達の良いところを見つけ自尊心を高めることができた。
- ・都度アンケートを取ったり、全校朝会の校長講話で学校のルールやなかまづくりについて、子どもたちに伝えたりしていることで、こどもたちは意識して学校生活が送るころができた。
- ・今年は清掃の時間に一緒に担当者が取り組んでいることが多く、清掃をきちんとする習慣がついている児童が増えてきた。

次年度への改善点

取り組み内容①

- ・いじめの有無に関係なく、定期的にいじめに考える機会を設ける。
目標の指標が学力調査の結果なので、1・2年生が対象外になっていることが気になる。
⇒学校アンケートの内容を見直すことでカバーすることができる。

取り組み内容②

- ・児童数の増加、集団活動の制限がなくなってきたことから、運動場や教室内での異学年交流（集会のたてわり班活動）の実施を検討してもよいのではないか。
例：可能であれば学期に1度ほど、たてわり班清掃など、異学年で活発に取り組めるような、イベントを行うとよい。
- ・実施する際は、担当教員教室や特別教室を活用し、6年生が1年生を迎えに行くなどすることで、活動のしやすさが改善できるようにする。

大阪市立川北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○ 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対市平均を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容③ 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・算数を研究教科とし、すべての教員が、校内研究を通して指導力向上を図る。 ・学習意欲の原動力となる「心」への教育刺激として、すぐれた芸術にふれる教育活動や遠足、社会見学、体験学習等を実施する。	B
指標 ・教員の研究授業、公開授業等を1人1回、年間20回以上実施する。 ・教育指導員等を指導要請し、研究授業(年3回)・研究協議を実施する。 ・遠足、社会見学、体験学習等(全学年:年1回以上)を実施する。	
取組内容④ 【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ・感染症対策をはじめ、児童の自主的な健康管理・衛生習慣(手洗い等)及び規則正しい生活習慣を育てる。 ・食物アレルギー対応を含め、食育の推進に努める。 ・体育的行事の充実を図り、児童が運動に親しむ機会を設けることで、児童の体力向上に取り組む。	B
指標 ・すべての児童に、感染症対策(ていねいな手洗い、アルコール消毒など)を徹底し、「手洗い週間」(各学期1回)を実施する。 ・「食物アレルギー対応」「救急救命」「熱中症対策」等の教職員研修(年1回)を実施する。 ・「保健だより」、「給食だより」(月1回)を発行し、家庭(保護者)への啓発をすすめる。 ・「なわとび週間」「かけあしタイム」等、体育的行事を実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取り組み内容③

- ・校内研究も校外学習も計画的に実施することができた。

取り組み内容④

- ・保健管理・衛生面の取り組みでは、手洗い週間を実施したことで、意識的に手洗いをする習慣が身についた。また、委員会の児童が給食中に放送することで、学校全体に周知することにつながった。
- ・食育の推進に関する取り組みでは、“つばさ”へのスムーズな移行ができた。残食を減らすための取り組みを各学級で実施できた。
- ・体育的行事の充実では、なわとび週間やかけあしタイムなど、委員会の児童を中心として学校全体として体力づくりに取り組むことができた。

次年度への改善点

取り組み内容③

- ・校外学習の付き添いの人員が直前にならないと分からなかった。年度当初に確定し、計画を立てる段階からスムーズに実施ができるよう、検討してほしい。
- ・公開授業の際、教室を空けて自習態勢をとることが難しいため、なかなか参加することが難しい指摘を受けた。（2月職員会議での研修部からの案件でご意見ください。）
- ・芸術に触れる機会が少ないように感じる。芸術的な鑑賞会の機会（音楽鑑賞会や劇鑑賞会、劇団四季のミュージカル鑑賞に参加するなど）を学校で設けたり、学校行事として作品展の実施を検討したりするなどしてほしい。

取り組み内容④

- ・年度目標が経年調査の結果に基づくものになっているため、1・2年生の実態が結果に反映されていない。児童アンケートに「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」等の質問項目を追加し、全学年が集計の対象になるようにした方が、より正確な実態をつかむことができると考えた。
※部会では、【肯定的に回答する児童の割合を70～80%】に設定する方向で話がまとまった。
- ・手洗い習慣において、タブレットでの回答率が学級によるばらつきが気になった。偏りをなくするために、養護教諭が中心となり教員研修の機会を設ける。
- ・学年の実態に応じた食後の歯磨きへの啓発

大阪市立川北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○ 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く] ○ 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85%以上にする。 ○ 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容⑤【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ・授業におけるICT機器(電子黒板、タブレット等)の積極的な活用に努めるとともに、オンライン学習等の推進に取り組む。	B
指標 ・各学級、学習室等で、ICT機器(電子黒板・タブレット等)を活用した学習活動等を(週5回以上)実施する。	
取組内容⑥【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教職員の働き方改革を推進し、しなやかな組織づくりに努める。	B
指標 ・日々の最終退勤時刻を18時30分(4時間授業期間は18時)に設定し、教職員に周知することで、教職員の時間外勤務縮減への意識の向上を図る。 ・会議の精選等をすすめるとともに、週1日ゆとりの日を設定する。	
取組内容⑦【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ・学校図書館の整備(蔵書の整理、データベース化等)をすすめる。 ・児童の学校図書館を活用した調べ学習・読書活動を推進する。	B
・学校図書館の整備(蔵書の分類・整理、データベース化等)をすすめる。 ・学校図書館の開館(年間35回以上)、学校図書館を活用した調べ学習・読書活動等(各学級各学期1回以上)を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取り組み内容⑤

心の天気の入力、デジタル教科書の活用、児童のプレゼンテーションソフトの使用など、必要に応じた機器の活用ができた。デジター教科書や書画カメラも有効である。

取り組み内容⑥

管理職による声掛けもあり、時間外勤務はずいぶん減少している。

取り組み内容⑦

蔵書点検や整備を通して、児童の要求に応じられる図書館づくりを進めている。火曜日のPTA、木曜日の司書の方による昼休みの開放も定着しつつある。

次年度への改善点

取り組み内容⑤

各学級の取り組み内容に差があるのもあり、必要に応じた研修や機器の整備を行う。1人1台端末が遊びにならないようにすることや、SNSへの注意などを引き続き行う。

取り組み内容⑥

今後も必要な行事、会議の精選を通し、働き方改革をすすめる。業務適正化をはかっていく。

取り組み内容⑦

委員会の児童が主体となった開館（貸し出しはなし）を計画し、昼休みの開放をさらに定着していく。集団貸し出しのアナウンスや学校司書の方々との連携を深め、レファレンスを学習に有効に活用していく。